

# 令和3年度日本気象学会東北支部気象研究会次第

日時：令和3年12月13日（月）13時00分～17時15分  
 仙台第3合同庁舎 2階大会議室

- I 開 会 仙台管区気象台気象防災部防災調査課長 13:00
- II 挨拶 仙台管区気象台長（日本気象学会東北支部長）
- III 連絡事項 仙台管区気象台気象防災部防災調査課調査官
- IV 研究発表

発表持ち時間は1題16分です。時間を厳守願います。  
 第1予鈴が、10分で鳴ります。まとめに入ってください。  
 第2予鈴が、12分で鳴ります。発表を終了し、質疑応答に入ります。  
 終鈴が、16分で鳴ります。質疑応答は終了です。  
 ※発表の際は、最初に調査の概要についてお話しください。

座長：仙台管区気象台 気象防災部 地球環境・海洋情報調整官 長井 秀樹			☆：発表者	発表予定時間
	発表者所属			13:15～14:20
1	東北地方における地球温暖化に伴う気候変化 －暖候期降水量について－	東北大学	☆諸岡 浩子、岩崎 俊樹、山崎 剛	
2	平年値でみた山形の気候変動	山形地方気象台	☆村山 七美、藤原 昭三	
3	秋田県に顕著な大雪をもたらす特徴的な機構について －JRA-55を用いた四八豪雪の解析から－	秋田地方気象台	柳澤 かおり	
4	6月の東シナ海域で見られる顕著な降水日周期の形成要因	東北大学	☆山下 堯也、岩淵 弘信、岩崎 俊樹	

【休 憩】 14:20～14:35

座長：仙台管区気象台 気象防災部 予報課長 永山 隆治（日本気象学会東北支部理事）			☆：発表者	発表予定時間
				14:35～15:55
5	令和3年2月15日から17日にかけての発達した低気圧の解析	青森地方気象台	山口 純平	
6	令和3年（2021年）8月9日～10日にかけての下北の大雨について [NHM実験編]	青森地方気象台	☆石鳥 和幸、寺内 俊平、山口 純平、根来 仁	
7	2021年8月9日から10日にかけての青森県を中心とした大雨事例の調査	仙台管区気象台	☆高野 一生、岩場 遊	
8	2021年6月24日の岩手県内陸南部の大雨事例解析	盛岡地方気象台	小林 大曙	
9	2021年1月9日の秋田市を中心とした大雪の解析	秋田地方気象台	松島 実里	

【休 憩】 15:55～16:10

座長：仙台管区気象台 気象防災部 地球環境・海洋課長 石崎 士郎			☆：発表者	発表予定時間
				16:10～17:15
10	海上風予測におけるEPS資料の利用可能性について	福島地方気象台	加茂 祐一	
11	秋田県における解析積雪深の検証	仙台管区気象台	山本 美幸	
12	機械学習を用いたひろだい白神レーダーによる津軽平野の冬季降水量予測	弘前大学	前田 未央、☆谷田貝 亜紀代、今井 雅	
13	2020/2021年の弘前市における降水の安定同位体比の特徴について	弘前大学	☆上野 優、谷田貝 亜紀代、芳村 圭	